

新日鉄住金エンジニアリングの建築・鋼構造事業部が展開する2階建物流施設向けのシステム建築「NSスタンロジ」は16年に販売。工期やコスト面で高い威力を発揮するヒット商品だ。このほど、新日鉄興和不動産が展開する物流施設「ロジフロント」シリーズの近畿圏第1号プロジェクトとなる「ロジフロント尼崎I」（兵庫県尼崎市）を受注。「NSスタンロジ」7件目の受注で累計受注額100億円を突破する節目のプロジェクトとなった。起工式が行われた現地取材した。

（村上 倫）

「ロジフロント尼崎I」は兵庫県尼崎市扶桑町の新日鉄住金尼崎研究開発センターの遊休地に建設される。遊休地活用事業として新日鉄興和不動産が物流施設を計画。これを新日鉄住金エンジニアリングが設計・施工で建設するスキームで、新日鉄住金、新日鉄興和不動産、新日鉄住金エンジニアリングの連携により実現したプロジェクトだ。3社連携のプロジェクトは増加しており、起工式で挨拶を行った新日鉄住金エンジニアリング建築・鋼構造事業部長の村上信行常務執行役員

新日鉄住金エンジニアリング「ロジフロント尼崎I」建設現場

は「新日鉄興和不動産から日本各地でご利用いただいている。関西地区では昨年、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン向けの駐車場を3社のフォアメーションで手掛けている。「ロジフロント尼崎I」もしっかりと任せて、このフォアメーションでさらに事業を展開したい」とその意気込みを語っている。

また、工事監修を担当したフクダ・アンド・パートナーズの福田哲也社長は「数年前からこの土地の敷



完成予想図



建設予定現場

地利用のバリエーションを検討し、汎用性あるプランを新日鉄興和不動産と共に考えてきた。この日を迎えることができ非常にうれしく思う。新日鉄住金エンジニアの卓越した技術力と藤井産業の施工力で期待に沿った施設を完成させ、利用者の利益や事業拡大に寄与する施設にしていきたい」と語った。

「ロジフロント尼崎I」は阪神高速道路「尼崎西IC」近くの良好な交通アクセスで近畿圏全体を網羅する広域配達の物流拠点として最適な立地。敷地面積は3万9731平方メートル、延べ床面積は4万3898平方メートルの鉄骨造2階建て「NSスタンロジ」適用案件の中で最大規模となる。地震エネルギーを吸収する独自の耐震・制振部材「アンボンドブレース」の採用によって耐震性を高めるほか、1階の両側にトラック

システム建築「NSスタンロジ」受注累計、100億円を突破



eコマース市場の進展に伴い延べ床面積2万坪を超えるような大型物流施設のニーズが拡大する中、新日鉄住金エンジニアリングは長年培った鋼構造技術力を生かし着実に実績を重ね、物流施設建設のトップランナーの一角を占めている。また、前身「NSスタンロジ」は2階建の中規模物流施設の市場拡大を想定し、大型物流施設で培ったノウハウと「スタンパッケージ」の利点を融合させた商品として開発、市場投入された。

特長は「アンボンドブレース」の採用、独自のグリッド設計（躯体

藤井産業とのJVで完遂へ



挨拶する福田フクダ・アンド・パートナーズ社長

体を作成する鉄骨重量を最小化するよう建物にグリッド形状を決める設計手法、システム建築の標準化・省力化技術の採用の3点。従来はブレース付ラーメン構造の適用が難しいとされてきたトラックバース型の物流施設に「アンボン



挨拶する村上新日鉄住金エンジニア常務

課題解決に貢献している。今後はこうした特長を生かして冷凍冷蔵対応やマテハン機器との一体提案などでさらに拡販していく構え。小規模倉庫から大型物流施設まで規模に応じた豊富な商品ラインアップを武器に、顧客に沿った建物を建設し顧客の

新日鉄住金、新日鉄興和不動産と連携

手物流会社は「当社の物流ネットワークの中で、ここは主要基幹センターになると位置付けている」と期待を寄せる。施工はシステム建築商品「スタンパッケージ」の施工・販売店会「スタンビルディング会」の有効活用を単発で行ってきたが、本プロジェクトはこれを象徴するプロジェクトの一つとも言える。

起工式で挨拶した新日鉄興和不動産の佐藤論貴常務取締役兼常務執行役員は「当社は「ロジフロント」のブランド名で一昨年、本格的に物流施設へ参入した。過去にも新日鉄住金の遊休地の有効活用を単発で行ってきたが、シリーズ展開を行い本件が3件目となる。関西での1号案件で記念すべき重要なプロジェクトだ」と強調。続けて「新日鉄住金エンジニアリングと藤井産業と共に約束の納期・品質でしっかりとした施設を立ち上げていく。この地は旧住友金属工業発祥のエリアで創業当時からの工場がある、歴史の詰まったレガシーのある土地。新日鉄住金のご厚意で今回の施設建設に至った。新日鉄住金エンジニアリングのNSスタンロジという競争力のなる商品を活用していく。NSスタンロジ最大規模の案件で、新日鉄住金エンジニアリングと藤井産業のメルクマールとなるプロジェクトとなるのではな

